

平泉文化セミナー第74回例会の開催案内

岩手大学平泉文化研究センターでは、東アジアにおける総合的「平泉学」の構築を図るための一環として、平泉文化セミナーや講演会等を定期的に開催しております。

今回は、平泉文化セミナー第74回例会を下記により開催しますので、ご都合のつく方はご参加ください。参加費は無料です。

演題

柳之御所遺跡の変遷とその背景

岩手県教育委員会文化財専門員 櫻井 友梓 氏

要 旨：

柳之御所遺跡は奥州藤原氏の居館として知られていて、多くの研究が行われてきた。遺跡は奥州藤原氏治世の100年間継続して機能していたこともあり、幾度かの改修や遺構の変化がみられる。

遺構の変遷は遺跡評価の基本的な事項でもあるが、発掘調査成果の公表とともに、検討可能な状況となってきた。また、居館の遺構内容は奥州藤原氏の支配や外的位置との関係も想起される。本発表では遺構変遷の検討を行うとともに、その背景について、周囲の遺跡などどのような歴史的関係が考えられるか検討していきたい。

令和6年2月19日（月） 17：15～18：45

岩手大学教育学部1号館 2階 E21 講義室

※会場参加のかたは、事前の申し込みは不要です。

※Zoom参加を希望されるかたは、2月16日（金）までに下記連絡先までメールにてお申し込みください。（ただし、視聴のみとなります。）

- ・会場参加者はマスクをご着用されることをお勧めします。
- ・体温が37.5度以上の場合は入場をお断りする場合があります。